

環境経営レポート



【 試行期間 2024年4月～2024年6月 】

【 発行日 2024年8月20日 】

【 第七版 2024年12月12日 】

株式会社 セキエイ

目次

- ・ 組織の概要
- ・ 対象範囲
- ・ 環境方針
- ・ 環境経営目標
- ・ 環境活動計画
- ・ 実施体制
- ・ 目標値実績
- ・ 活動計画取組結果とその評価
- ・ 次年度の活動計画
- ・ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
- ・ 代表者による全体の評価と見直しの結果

≪ 事業所概要 ≫

事業所名 株式会社セキエイ
代表者 代表取締役 阿部雄二
設立 平成6年7月
資本金 10,000,000円
所在地 <本社> 岩手県一関市赤荻字雲南134-1
<第2工場> 岩手県一関市赤荻字槻本151
※登録範囲対象外
<マシニング工場> 岩手県一関市赤荻字亀田172-1

社員数 40人
環境管理責任者 品質管理課長 下河原健司
及び連絡先 電話 0191-48-3692
FAX 0191-25-5486
E-mail contact@sekiei-ii.jp

≪ 事業内容 ≫

金属加工業（切断、プレス、精密板金、機械加工、溶接）
・ 建材部品、住宅用サッシ部品
・ 自動車用部品加工
・ 各種産業製品用部材加工
・ 精密機器製造ライン部品製造
・ 架台
・ 産業用パレット

登録範囲 今年度の対象範囲は本社工場とマシニング工場とします。

【段階的認証】第2工場は2025年7月頃に本社工場近隣へ移設予定の為、移設後追加で対象範囲に含める予定です。

対象期間 基準年データは2022年度(2022.7~2023.6)とします。
試行期間は2024.4~2024.6としています。

≪ 取引金融機関 ≫

北日本銀行 山目支店
一関信用金庫 一関インター支店
岩手銀行 一関支店
商工中金 盛岡支店
七十七銀行 北上支店

主な生産設備

機械名称	型式	能力及び加工最大値	メーカー名	台数
自動切断機	TK2M-2060G	月/100 t 以上	津根製作所	1
切断機	16ACM2N-16000		吉田工業	2
マシニングセンター NC長尺加工機 合計 9 台	VR5A	(X) 1080×(Y) 610×(Z) 610	三井精機	1
	ON-1100	(X) 2400×(Y) 1100×(Z) 850	大島機工	1
	GF-6	(X) 1050×(Y) 600×(Z) 560	牧野フライス	1
	SWS4000	4000mm	サワイリエンジニアリング	1
	SWS5000	5000mm	サワイリエンジニアリング	1
	ILM3330	3300mm	イワシタ	1
	他、マシニングセンター 3 台			
プレス機 合計 8 台	TP-150EX	150 t	アマダ製	1
	TP-110EX	110 t		1
	TP-80EX	80t		1
	他、プレス機 5 台			
サーボプレス機	SDE801813	80t	アマダ製	1
	SDE2025I3	200 t		1
バンダー 合計 6 台	HG 8 0 2 5	80t 曲げ長さ2600mmまで	アマダ製	1
	HG 1 0 0 3 A T C	100t 曲げ長さ3000mmまで		1
	E G 6 0 1 3	60t 曲げ長さ1300mmまで		1
	他、バンダー 3 台			
シャーリング機	D C T 1 2 6 5		アマダ製	1
溶接機	TIG		ダイヘン製	3
	MAG		パナソニック製	3
溶接ロボット			ダイヘン製	1
ハンディファイバー レーザー溶接機	F L W 1 5 0 0 M T	1. 5 K W	アマダ製	1
CDスタッド溶接機	CD-100R		アジア技研	1
メタルソー	NA370			1
自動タッピング機	C T S 9 0 0 N T		アマダ製	1
自動バリ取り機	ME-2401	1300mm幅 研磨ブラシ8本仕様	エステリンク	1
コンプレッサー				5
フォークリフト		1. 5 t ~ 2. 5 t まで積載	トヨタ L & F	4
スポット溶接機	N K 0 3	テーブルサイズ1000×1500	向洋技研製	1
	ID4 0 IVHP-NT		アマダ製	1
ファイバーレーザー 複合機	2 5 1 2 C 1 A J	加工範囲 2 5 5 0 × 1 2 7 0	アマダ製	1

環境経営方針

<環境理念>

株式会社セキエイは、この地域の美しい自然環境を将来世代に引き継いでいくために、生活環境及び自然環境に配慮した金属部品の加工を通して、地域の環境保全及び、持続可能な社会の実現に寄与することが重要であると認識しております。このため、事業に伴う環境負荷の低減活動に真摯に取り組み、環境貢献及び従業員の物・心両面の幸福が得られるよう継続的に改善活動を推進致します。

<行動指針>

1、環境に配慮した事業活動を行い、環境目標を定め環境負荷の低減・維持管理を実施します。

- * 二酸化炭素排出量の削減
- * 廃棄物排出量の削減
- * 適切な水の使用及び排出
- * 化学物質及び化石燃料使用量の削減
- * グリーン購入の推進

2、製品製造における資源の有効活用とエネルギーの削減のため、不良率の削減、歩留向上に努めます。

3、環境方針達成のため、目標及び計画(PDCAサイクルの活用)に基づき環境負荷の低減活動を継続的に努めます。

4、事業活動に関連する法規制は、確実に遵守することを誓約いたします。

制定日: 令和6年2月1日

改定日: 令和6年10月1日

株式会社 セキエイ

代表取締役

阿部雄二

環境経営目標

(1) 環境目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック並びに環境方針との整合を図り、下記項目について、環境目標を設定しました。

- 二酸化炭素排出量の削減 (基準年より毎年1%削減)
- 電気使用量の削減 (基準年より毎年1%削減)
- ガソリン使用量の削減 (基準年より毎年1%削減)
- 灯油使用量の削減 (基準年より毎年1%削減)
- ガス使用量の削減 (基準年より毎年1%削減)
- 廃棄物排出量の削減 (基準年より毎年1%削減)
- 水使用量の削減 (基準年より毎年1%削減)
- 化学物質(NKクリーナー)購入量の削減 (基準年より毎年1%削減)

(2) 環境目設定(基準年・短期・中期目標値)

基準年である2022年度(2022年7月～2023年6月)の実績値を基に、環境目標項目の短期目標(2023年度は6月で終わりましたので2024年度とします)並びに中長期目標を下記のように設定しました。

試行期間(2024年4月～6月)の目標設定数値は、実績資料に記載します。

項目	単位	【基準年】 2022年度 0内は年度総量	試行期間 2023年度 2024.4-6月	短期目標 2024年度 基準年-1%	中期目標 2025年度 基準年-2%	中期目標 2026年度 基準年-3%
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /百万円	376.567 (206358kg-CO ₂)	基準年の-1%	372.801	369.036	365.270
電気使用量	Kwh/百万円	691.389 (378881Kwh)	基準年の-1%	684.475	677.561	670.647
ガソリン使用量	L/百万円	8.416 (4612.01L)	基準年の-1%	8.332	8.248	8.164
軽油使用量	L/百万円	7.646 (4189.94L)	基準年の-1%	7.569	7.493	7.416
灯油使用量	L/百万円	14.558 (7978L)	基準年の-1%	14.413	14.267	14.122
ガス使用量	m ³ /百万円	0.073 (40m ³)	基準年の-1%	0.072	0.072	0.071
産業廃棄物排出量	Kg/百万円	356.265 (195233kg)	基準年の-1%	352.702	349.139	345.577
化学物質購入量 (NKクリーナー)	L/百万円	0.146 (80L)	基準年の-1%	0.145	0.143	0.142
水使用量	m ³ /百万円	0.285 (156m ³)	基準年の-1%	0.282	0.279	0.276

電力の二酸化炭素調整後排出係数は0.438kg-CO₂/kWhで算出しています。

基準年(2022年度)の二酸化炭素総排出量は 206358kg-CO₂ でした。

数値は全て売り上げ原単位(／百万円)で算出しています。

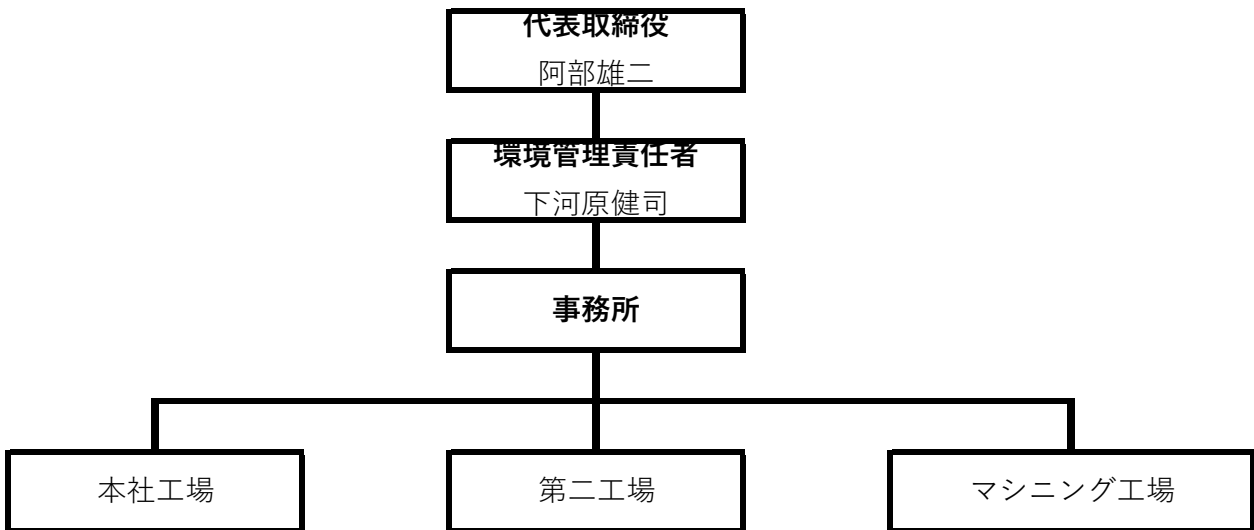
作成年月日: 2024年2月1日

更新年月日: 2024年11月13日

環境経営実施計画

取り組み項目	具体的内容	実施事例	責任者	年間計画			
				準備期間 1, 2, 3	試行期間 4, 5, 6	7, 8, 9	10, 11, 12
1) 二酸化炭素排出量削減 (ガソリン使用量削減) (軽油使用量削減) (ガス使用量削減)	エコドライブの推進	エコドライブ教育	阿部広幸	啓蒙・教育		呼びかけ・実施	
		アイドリングストップの徹底		啓蒙		呼びかけ・実施	
	エネルギーの節約	配送ルート効率化				都度協議・実施	
		化石燃料の使用削減					
2) 電気使用量削減 (灯油使用量削減)	空調温度の適温化	設定温度の管理	阿部広幸	啓蒙・掲示		呼びかけ・実施	
	空調機の適正管理	適切なメンテナンスの実施				定期的実施	
	不使用電力の節約	不要な電力OFF		啓蒙・掲示		呼びかけ・実施	
	省エネ設備への更新					継続的協議	
4) 水使用量削減	節水	呼掛け・掲示	阿部広幸	啓蒙・掲示		呼びかけ・実施	
	凍結防止	呼掛け・掲示		啓蒙・掲示		呼びかけ・実施	
5) 廃棄物排出量削減 一般廃棄物 産業廃棄物	分別の徹底と再資源化	再資源化が可能な物の分別を徹底する	佐藤満	啓蒙・掲示		呼びかけ・実施	
	分別の徹底と再資源化	再資源化が可能な物の分別を徹底する		啓蒙・掲示		呼びかけ・実施	
	不良率の低減	発生原因の追究と是正				都度実施	
		作業者への教育				都度実施	
		作業の標準化				都度立案、実施	
6) 化学物質購入量削減	使用量の低減	アルカリイオン水への切り替え促進	佐藤満	啓蒙・立案		随時切替実施	
	洗浄の適正化	使用状況の管理及び確認					

実施体制



代表取締役

- ・ 環境経営方針を策定する。
- ・ 経営上の課題とチャンスの明確化をする。
- ・ 環境経営目標の見直しと環境経営計画の評価をする。
- ・ 環境経営レポートの評価をする。
- ・ 実施体制の構築（役割・責任・権限 / 環境管理者の任命）

環境管理責任者

- ・ E A 2 1 を構築し、実施し、且つ維持する。
- ・ 環境目標、経営計画書を承認する。
- ・ 取組結果を代表者へ報告し、評価を得る。
- ・ 環境経営レポートを承認する。
- ・ 法規制等の調査、特定及び法規制一覧を承認する。

事務所

- ・ 環境管理責任者の補佐
- ・ 環境経営目標、経営計画書の作成
- ・ 環境経営の実績集計
- ・ 環境経営レポートの作成
- ・ 相談窓口

全従業員

- ・ 環境経営方針の理解と E A 2 1 取組の実施
- ・ 環境経営計画を部門内で自主的、積極的に活動する
- ・ 環境経営の実施及び達成状況の報告
- ・ 担当部内で問題の発見、是正、予防処置の実施と相談

作成日 R6.2.1

作成者 下河原健司

試行期間(2024.4~2024.6)実績

項目	単位		4月	5月	6月	3ヶ月合計 0内は期間総量	目標数値 (基準年-1%)	評価
							比較結果	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /百万円	基準年 2023年	209.513	261.449	250.906	721.869 (32787.9)	714.650	/
		試行期間 2024年	293.140	251.369	273.618	818.127 (47631.1)	113%	×
電気使用量	Kwh/百万円	2023年	422.313	496.053	532.608	1450.973 (66284)	1436.463	/
		2024年	498.396	486.927	525.719	1511.043 (83162)	104%	△
ガソリン使用量	L/百万円	2023年	5.401	6.439	7.581	19.422 (890.59)	19.227	/
		2024年	7.959	7.306	8.787	24.052 (1324.53)	124%	×
軽油使用量	L/百万円	2023年	3.167	8.820	6.686	18.673 (828.17)	18.486	/
		2024年	8.798	8.138	8.872	25.808 (1419.61)	138%	×
灯油使用量	L/百万円	2023年	1.417	2.474	0.000	3.890 (162)	3.851	/
		2024年	13.434	0.000	0.000	13.434 (712)	345%	×
ガス使用量	m ³ /百万円	2023年	0.104	0.108	0.012	0.224 (9.7)	0.222	/
		2024年	0.075	0.049	0.026	0.151 (8.2)	67%	○
産業廃棄物排出量	Kg/百万円	2023年	311.667	435.526	203.529	950.722 (41890)	941.215	/
		2024年	271.717	353.455	310.526	935.698 (51541)	98%	○
化学物質購入量 (NKクリーナー)	L/百万円	2023年	0.000	0.000	0.000	0.000 (0)	0.000	/
		2024年	0.000	0.000	0.000	0.000 (0)	---	○
水使用量	m ³ /百万円	2023年	0.271	0.395	0.235	0.901 (40)	0.892	/
		2024年	0.264	0.218	0.281	0.763 (42)	85%	○

※評価は合計数値が目標数値より成果が出ているかで判断しています。

目標数値クリア ○

基準年同様(+5%未満)の成果 △

基準年より5%以上悪化 ×

※電力の二酸化炭素調整後排出係数は0.438kg-CO₂/kWhで算出しています。

※2022年度(2022.7~2023.6)を基準年としています。

※試行期間内の二酸化炭素総排出量は47631.1kg-CO₂でした。

※数値は全て売り上げ原単位(／百万円)で算出しています。

作成日 R6.8.5

更新日 R6.12.12

作成者 下河原健司

活動結果と評価

取り組み項目	具体的内容	実施事例	責任者	年間計画				評価
				準備期間 1, 2, 3	試行期間 4, 5, 6	7, 8, 9	10, 11, 12	
1) 二酸化炭素排出量削減								
(ガソリン使用量削減)	エコドライブの推進	エコドライブ教育	阿部広幸	啓蒙・教育		呼びかけ・実施		B
(軽油使用量削減)		アイドリングストップの徹底		啓蒙		呼びかけ・実施		A
(ガス使用量削減)	エネルギーの節約	配送ルートの効率化				都度協議・実施		C
		化石燃料の使用削減						C
2) 電気使用量削減								
(灯油使用量削減)	空調温度の適温化	設定温度の管理	阿部広幸	啓蒙・掲示		呼びかけ・実施		B
	空調機の適正管理	適切なメンテナンスの実施				定期的実施		A
	不使用電力の節約	不要な電力OFF		啓蒙・掲示		呼びかけ・実施		A
	省エネ設備への更新					継続的協議		B
4) 水使用量削減								
	節水	呼掛け・掲示	阿部広幸	啓蒙・掲示		呼びかけ・実施		A
	凍結防止	呼掛け・掲示		啓蒙・掲示		呼びかけ・実施		A
5) 廃棄物排出量削減								
一般廃棄物	分別の徹底と再資源化	再資源化が可能な物の分別を徹底する	佐藤満	啓蒙・掲示		呼びかけ・実施		A
産業廃棄物	分別の徹底と再資源化	再資源化が可能な物の分別を徹底する		啓蒙・掲示		呼びかけ・実施		A
	不良率の低減	発生原因の追究と是正				都度実施		A
		作業者への教育				都度実施		B
		作業の標準化				都度立案、実施		B
6) 化学物質購入量削減								
	使用量の低減	アルカリイオン水への切り替え促進	佐藤満	啓蒙・立案		随時切替実施		B
	洗浄の適正化	使用状況の管理及び確認						B

評価基準
 A：活動が実施されている
 B：活動が概ね実施されている
 C：活動停滞（責任者より啓発）

作成日 R6.7.26
 作成者 下河原健司

環境経営実施計画

取り組み項目	具体的内容	実施事例	責任者	前年度評価	年間計画			
					7, 8, 9	10, 11, 12	1, 2, 3	4, 5, 6
1) 二酸化炭素排出量削減	エコドライブの推進	エコドライブ教育	阿部広幸	/				
		アイドリングストップの徹底		B		呼びかけ・実施		
	エネルギーの節約	配送ルート効率化		A		呼びかけ・実施		
		化石燃料の使用削減		C		都度協議・実施	※重点項目	
2) 電気使用量削減	空調温度の適温化	設定温度の管理	阿部広幸	/				
	空調機の適正管理	適切なメンテナンスの実施		B		呼びかけ・実施		
	不使用電力の節約	不要な電力OFF		A		定期的実施		
	省エネ設備への更新			A		呼びかけ・実施		
4) 水使用量削減	節水	呼掛け・掲示	阿部広幸	/				
	凍結防止	呼掛け・掲示		B		継続的協議		
5) 廃棄物排出量削減	一般廃棄物	分別の徹底と再資源化	阿部広幸	/				
		再資源化が可能な物の分別を徹底する		A		呼びかけ・実施		
	産業廃棄物	分別の徹底と再資源化		A		呼びかけ・実施		
		再資源化が可能な物の分別を徹底する		A		都度実施		
		不良率の低減		発生原因の追究と是正	B		都度実施	
6) 化学物質購入量削減		作業者への教育	千田和由	/				
		作業の標準化		B		都度立案、実施		
	使用量の低減	アルカリイオン水への切り替え促進		B		随時切替実施		
	洗浄の適正化	使用状況の管理及び確認		B				

評価基準

A：活動が実施されている

B：活動が概ね実施されている

C：活動停滞（責任者より啓発）

作成日 R6.7.31

作成者 下河原健司

環境関連法規などの順守状況 (2023年度)

確認日: R6.7.31

確認者: 下河原健司

適用される法規制	適用内容及び概要	対象	順守状況
廃棄物処理法	マニフェストの提出 廃棄物保管管理	一般廃棄物 (可燃ごみ)	保管管理 ○
岩手県条例 循環型地域社会の形成 に関する条例	委託業者の適正処理能力と処分状況 を視察する(1回以上/年)	産業廃棄物 (金属くず、廃油、木くず)	視察確認 ×
騒音規制法	設置届け提出 地域基準の順守	7.5kW以上のコンプレッサー 準工業地域にMC工場が該当 (MC工場コンプレッサー 22kW)	○
振動規制法	設置届け提出 地域基準の順守	200tサーボプレスが該当するが、本 社工場は規制対象地域外	届け 必要無し
下水道法	使用開始届け提出 排出基準の順守	MC工場が下水道を使用してい るが、少量使用の為、排出基準 の順守適用範囲外	○
水質汚濁防止法	敷地外への流出事故時の届け提出	油及び有害物質の流出時	事故無し
浄化槽法	設置届け提出 点検・清掃実施及び記録保管	本社工場に設置	○
フロン排出抑制法	廃棄・修理時の届け提出 簡易点検実施及び記録保管	各工場設置の業務用エアコン・コンプレッサー・クーラー等	○
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任 SDS物質のリスク評価	SDS義務640物質の使用前	○
消防法	指定数量未満の保管管理	指定品量合算時の数量管理 オイル・灯油・クリーナー (第○類石油類記載)	○
グリーン購入法	購入品の選択推進		○

環境関連苦情・訴訟等の有無

期間内に関係当局より違反等の指摘や近隣住民から苦情などはありませんでした。
 これまでは廃棄物処分委託先の定期的な処理能力確認(視察)を実施していませんでした。
 今後、視察を計画し状況確認を行います。

代表者による全体の評価と見直し・指示

作成日 R6.8.20

作成者 下河原健司

項目	評価	見直し・指示
環境経営方針	良好と思う	初回の取り組みの為、見直し等は無し。
	参考資料 環境経営方針(R6.2.1)	
環境経営目標 及び 環境経営計画(試行期間)	良好と思う	初回の取り組みの為、見直し等は無し。
	参考資料 環境経営目標 環境経営計画(試行期間)	
試行期間実績値 試行期間活動結果 及び 次年度環境経営計画	現時点では、ほぼ良好と思う。 実績のデータを年単位で見ることが重要だと思うので、引き続きデータを取り評価する。	初回の取り組みの為、見直し等は無し。
	参考資料 試行期間実績 試行期間活動結果 環境経営計画(2024年度)	
実施体制	体制的には問題なし。 ただ、一部で留まってしまっている事があるので、社員全員で取り組む体制作りが必要。	初回の取り組みの為、見直し等は無し。
	参考資料 実施体制(試行期間)	
法規制関連	良好と思う。 油の管理を重点に、引き続き法律順守すること。	初回の取り組みの為、見直し等は無し。
	参考資料 環境関連法規などの順守 状況(試行期間)	
その他	特になし	特になし
総括	<p>取り組みの方向性は間違っていないと思われるため、継続して取り組んで欲しい。 次年度の結果を見て、必要があれば見直しをしましょう。</p>	